

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、2,205件（153種類）であり、このうち特に件数の多かったものは、「小規模作業所等成人期障害者対策に関する請願」199件、「建設省の定員の大幅増員に関する請願」107件、「従軍慰安婦に対する国家による謝罪・補償等に関する請願」94件、「水俣病問題徹底・完全解決のための国による患者との和解協議即時開始の国会による促進に関する請願」94件などであった。

各委員会への付託件数は、内閣250件、地方行政2件、法務71件、大蔵40件、文教102件、厚生724件、農林水産21件、商工36件、運輸190件、通信24件、労働133件、建設303件、議院運営192件、環境94件、災害対策12件、選挙制度3件、沖縄・北方1件、分権・緩和6件であった。

また、取り下げられた請願は1件（付託後）であった。

なお、「廃棄物の減量化・再生利用促進のための法制定に関する請願」外1件は、当初厚生委員会に付託したが、6月5日に「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律案（閣法第97号）」が商工委員会に付託されたため、同日、同委員会に付託変更した。

次に、請願者の総数は729万360人に上り、このうち「戦争の反省と謝罪の国会決議反対に関する請願」は請願者数が100万人を超えている。

また、請願書の紹介提出期限については、6月1日の議院運営委員会理事会において会期終了日の10日前の同月8日までと決定された。なお、最終回の付託請願については、13日に各委員会の請願審査が予想されたため、請願文書表の配付を待たず、12日に原本付託した。

6月14日及び15日、各委員会において請願の審査が行われ、8委員会において639件（30種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで、16日の本会議において「鉄道共済年金の長期的安定及び給付と負担の公平に関する請願」外638件が採択され、即日内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、29.0％であり、また種類別の採択率（採択数／付託数）は、19.7％であった。